

開講年度・学期	2017年度・後期	授業形態	講義
科目名	民法第3部	科目ナンバー	JAPRI2203
英語表記	Civil Law 3	担当教員	高橋 眞
単位数	4		

### 科目の主題

債権総則（民法399条～520条および関連法令）の学習

### 授業の到達目標

債権総則の諸制度を、その定義および典型的な具体例を通じて理解すること。

### 授業内容・授業計画

下記の順序で講義をする。但し、時間不足の場合に、その内容を次の回に持ち越すことがありうる。

第1回	債権総則の位置と債権の概念（テキスト第1章）
第2回	債権の目的①総説・特定物債権と種類債権（その1）（テキスト第2章1～4）
第3回	債権の目的①総説・特定物債権と種類債権（その2）（テキスト第2章5、大判大正14・3・13民集4巻217頁、最判昭和36・12・15民集15巻11号2852頁）
第4回	債権の目的②金銭債権・利息債権・選択債権（テキスト第3章）
第5回	債権の効力・強制履行（テキスト第4章）
第6回	債務不履行①債務不履行の基本類型（その1）（テキスト第5章1～4）
第7回	債務不履行①債務不履行の基本類型（その2）（テキスト第5章4～5）
第8回	債務不履行②信義則に基づく義務（その1）（テキスト第6章1～2）
第9回	債務不履行②信義則に基づく義務（その2）（テキスト第6章3～4）
第10回	債務不履行③債務不履行の効果—損害賠償（その1）（テキスト第7章1～3）
第11回	債務不履行③債務不履行の効果—損害賠償（その2）（テキスト第7章4～7）
第12回	債権侵害に対する保護（テキスト第8章）
第13回	債権者代位権（テキスト第9章）
第14回	詐害行為取消権①—要件（その1）（テキスト第10章1～3）
第15回	詐害行為取消権①—要件（その2）（テキスト第10章3～4）
第16回	詐害行為取消権②—行使方法と効果（テキスト第11章）
第17回	多数当事者の債権関係—総説・分割債権関係・不可分債権関係（テキスト第12章）
第18回	連帯債務（その1）（テキスト第13章1～3）
第19回	連帯債務（その2）（テキスト第13章3～5）
第20回	保証債務（その1）（テキスト第14章1～4）
第21回	保証債務（その2）（テキスト第14章5～6）
第22回	債権の消滅—各種の債権消滅原因（テキスト第15章）

第 22 回	債権の消滅—各種の債権消滅原因（テキスト第 1 5 章）
第 23 回	弁済—弁済の提供と受領、関連事務の処理（テキスト第 1 6 章）
第 24 回	弁済者代位（その 1）（テキスト第 1 7 章 1～3）
第 25 回	弁済者代位（その 2）（テキスト第 1 7 章 4～5）
第 26 回	相殺（その 1）（テキスト第 1 8 章 1～3）
第 27 回	相殺（その 2）（テキスト第 1 8 章 4～5）
第 28 回	債権譲渡・債務引受（その 1）（テキスト第 1 9 章 1～3）
第 29 回	債権譲渡・債務引受（その 2）（テキスト第 1 9 章 4～6）
第 30 回	まとめ

### 事前・事後学習の内容

事前に、テキストの該当部分に目を通して置くこと。授業の中で気が付いたこと、疑問に思ったことを、各自で調べ、さらに教員に質問すること。

### 評価方法

期末試験による。

### 受講生へのコメント

六法全書を持参し、授業の中で引用された条文を、そのつど確かめること。また、基本的な制度や概念については、典型的な具体例とセットにして頭にいれること。

### 教材

高橋眞『入門債権総論』（成文堂・2013年）

### その他

関連判例を調べるについては、松本恒雄・潮見佳男編『判例プラクティス民法Ⅱ債権』（信山社・2010年）が便利である。

### 履修可能最低年次

2年次生以上